（二）萩間川　牧之原市相良地先　［萩間川相良水門塗装工］

平成25年11月

【位置図】

【現況】

比較案①　グレーベージュ（指針色）G19-60B

比較案②　ブラウン（現行色：城門をイメージ）R24-224

比較案③　グレー（両端扉体と同色）DN-70

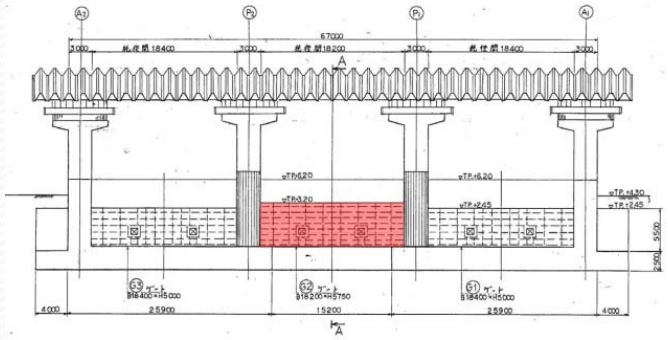
【萩間川相良水門概要】

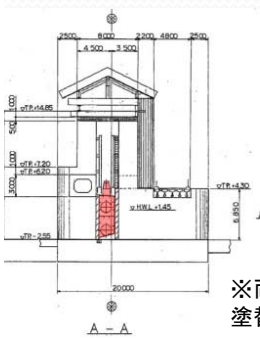
平成7年12月完成　　型式：鋼製シェル構造ローラーゲート
純径間×有効扉高：18.2m×5.75m
門数：3門

【工事の内容】

本工事は、施設の長寿命化計画（平成24年度策定）に基づき、劣化した塗装を塗り替える工事です。

前回の塗装（水門完成時）から約18年が経過しているため、劣化がかなり進行しています。今回の景観検討は『扉体外面』が対象とされました。





扉体外面（G2ゲート）
A＝424㎡
（18.2m×5.75m　1門）

景観検討会議対象
（扉体外面）

※両端扉体は、平成18年度に塗替塗装済み（グレー色）

ふじのくに色彩・デザイン指針
《　留意事項　》

エリアの景観特性に調和する色彩を採用する

・エリア区分　　河川

・周辺景観と調和する色の選択をする。
・周辺の環境から浮き上がらないように配慮する

景観検討会議結果

専門家による意見聴取が必要
（津波・高潮対策を目的とし、上屋施設が設置されている多径間の水門）

萩間川相良水門色彩検討結果

【実施日】

平成２６年１月２２日（水）

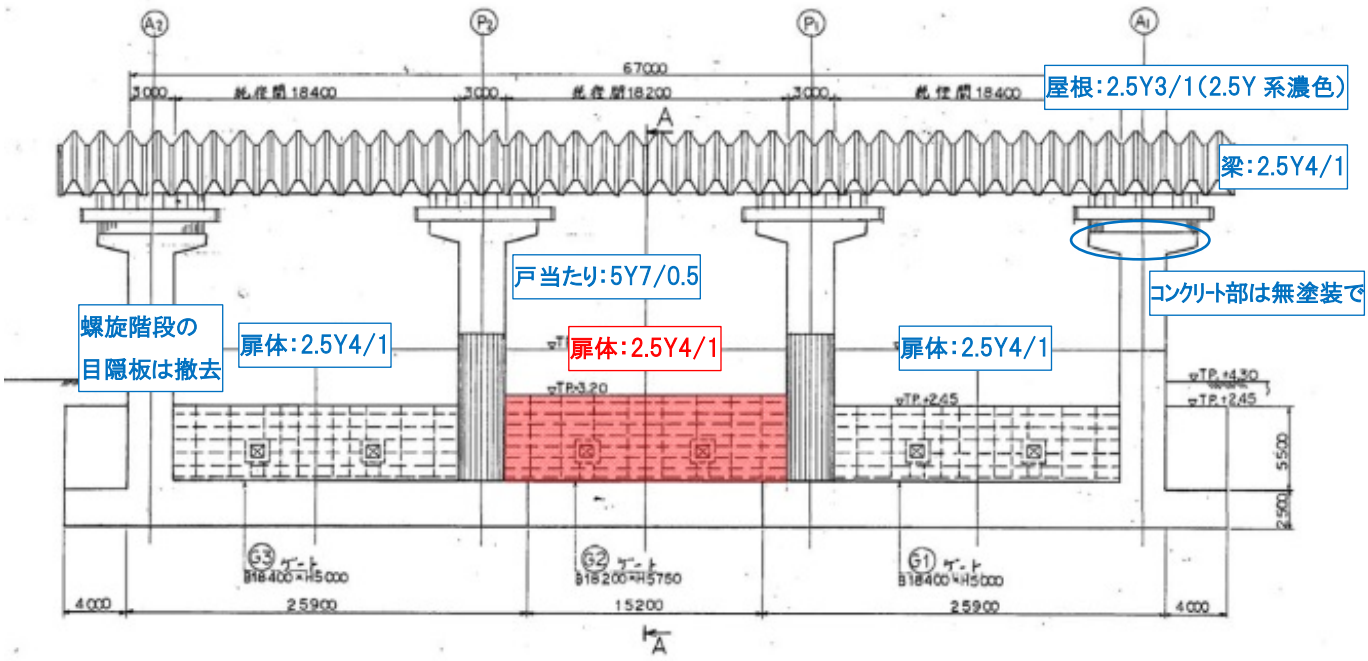
【出席者】

静岡県景観懇話会　吉田慎悟委員

交通基盤部都市局都市計画課　永井友子主任

島田土木事務所　杉本則尚所長、企画検査課薗田隆之主査

工事第３課伊藤幹彦課長、石井哲班長、塚本秀明主査



箇所	マンセル値	日塗工 色票番号	今回塗装 工事対象	備考
扉体（中央径間）	2.5Y4/1	G22-40B	○	疑リベットも同色。
扉体（両側径間）	2.5Y4/1	G22-40B	×	現在はグレーだが将来的には中央部扉体と色を揃えた方が望ましい。
屋根	2.5Y3/1	G22-30B	×	2.5Y 系濃色。
梁	2.5Y4/1	G22-40B	×	
戸当たり	5Y7/0.5	G25-70A	×	
螺旋階段	5Y7/0.5	G25-70A	×	設置の経緯を確認し、不要であれば目隠板は撤去した方が良い。
コンクリート部	無塗装		×	機械室床版部に残存している塗料を剥がせるか確認する。

※今回塗装工事対象外の箇所は、将来実施前に再度確認を行うこと。

【意見】

・木造のイメージを大切にするために、木構造をイメージした部材（門扉、上屋の梁等）は 2.5Y 系の茶色で統一した方が良い。

・コンクリート打ちっ放しとなっている堰柱等に付属している戸当たりや螺旋階段は、コンクリートとの馴染みを考慮して、5Y7/0.5 とするのが良い。

・水門に隣接している管理棟について、次回外壁塗替え時には景観に配慮した色彩とするよう留意すること。

【色彩検討状況】